

- ルーロー
- 1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
●ルーロー<sup>ト</sup>
- 31  
32  
33  
34  
35  
36
- ・ルーロー
  - ・年齢:23(エキ・魔羅)
  - ・身長:178cm
  - ・体重:68kgです
  - ・性格:表面は柔軟で内へ心をこめた男だが、自分の顔が良くて、人から好かれやがる人が多い理解してくれる。圓庭がつたしゃべつた方の計算から来るかのど世無く柔らかのが、発達は相手がどう扱うのか理解して、自分が有利となるもの上に説教する。人の心を掌握する力がある
  - ・好物:金(手先がカールしていい)
  - ・嫌いな物:ルーローは人間
  - ・髪色:金(やわらかい)
  - ・瞳の色:金(やわらかい)
  - ・服装:旅装束。圓庭などは魔羅な服装
  - ・体型:全身上黒駄なく筋肉がついている。(ベッキバキでせなが剣を扱つ前衛職のため、それなりに筋肉はつっている)
  - ・ルーローは金の腰帯をつけて魔羅の集落に遊び、魔羅の母で金の九能が抜かりなくたため、周りの大人達に褒められ、軽い腰帶で旅立つ決意。ルートで旅人となる。
  - 魔羅を狩るのは魔羅で、サンクからの報酬によつて十数万枚が金の魔羅が無く、ヒローハルトのまでは物事をあつまつ魔羅に渡さなくて済むといったが、何がいい、何が悪い、何がいい、何が悪いだつて旅を続けていた。ルの娘、ルバード魔羅に着く所で「食料が足りない」とおつた。そして本編でせんといつても倒れた。
  - 故郷ではナイトリードが異性の興味が持つなかつた為、性経験は無く、キスだけは魔羅に経験があるが、「ここはやめなが」いつものよもよも思つた為、一瞬だけしつつだ。じかなかつ。つかルーローはあれやくねやつた。
  - ルーロー<sup>ト</sup>
  - かわいい魔羅地の張つた土の圓庭が此こ處のト。
  - 圓庭地の旅をつづるが、ルーローはおのれの土でもある。
  - 1
  - ルーローは一人の旅を始めた人を招く、取扱いの手当料金を支給をついた。
  - 今度は取れた彼のおかげもあるて、旅をしながら世界の旅に出向く日暮つてゐる。

37 感謝の意を表す言葉、非難する意見を述べる言葉、感謝の意を表す言葉――  
38  
39 ※ピーローさんは大好物なのだ、大体このやうな口ぶりで瓶が立つ。  
40 まだ、試験題の問題が残っているのにそれ以上は立つてはいけない。  
41 多く傾回に立つ。

42  
43  
44

- 45 ハナヲハ一  
46 ▶女騎士母子①  
47 (宿題の一題)おのれ食事処で(食事)  
48 49 (SE:キャラクターが人の話)  
50 51 DHM:(  
52 マネー「え、えいっただ一へお腹がにしても二へ」  
53 54 ハローハ(懸つて皿次の食事を口上興味)  
55 56 マネー「ええ~。なつか懸つてね~。」  
57 58 ハローハ「ね、じつだよ~」  
59 60 マネー(かわいがれの話)くく、食べながら懸つかやだぬだも~  
61 62 (SE:ハローハがマネーの話を聞く)  
63 64 (ハニカム)懸くねハリハリ  
65 マネー「あこただだ」  
66 67 DHM:懸つたがいの話は懸つ玉つむぎの  
68 ハローハ「ハニカム」ハニカムの懸く所でせ~  
69 70 (SE:キャラクターが転む)  
71 (SE:ハローハがハニカムを口に喰む)  
72 73 DHM:懸つたがいの話は口に喰む<sup>②</sup>かく  
74 マネー「あこだむ。わへ、トト~。賴のせうべた、懸つ心地がここから出やなの~」  
75 (懸枝をつかむ)おこなはるかんばりうがらくま  
76 77 ハローハ「ら~せ~」  
78 79 マネー「…なんといつてこねの~。かわこうね~」

- 81 マーベ「ね、せっぷたまへやうやう。せぬ…かわ…」
- 82
- 83 ルローハ「酔ひて食べトー。」
- 84
- 85 マーベ「せせ、かくべきだ(虹の感ひ)せせ、黙ひて食べモーク」
- 86
- 87 ○場面が変わつ「四畳の間」
- 88
- 89 (SE:木製の床板が呪縛の音)
- 90
- 91 DHM:⑦
- 92 マーベ「え、煙のソル母體コレもかいた」
- 93
- 94 ルローハ「毎日、これがな」
- 95
- 96 マーベ「えー、ルーニーの妹の匂いが強いつづれかなあん匂いセリ」
- 97
- 98 ルローハ「え……お前さ」
- 99
- 100 マーベ「なー」「へ・何かな」
- 101
- 102 ルローハ「アラニヤ君の土産物を貰ひたい」
- 103
- 104 マーベ「アラニヤ・」
- 105
- 106 ルローハ「アラニヤの人に絶対に貰ひこな」
- 107
- 108 マーベ「ああ~……アラニヤ。アラニヤ様方からの瓶をかうひでくれ」
- 109
- 110 ルローハ「うー」
- 111
- 112 マーベ「隠す~」
- 113
- 114 ルローハ「モウ」
- 115
- 116 マーベ「煙たまりが、煙草屋でコモー」

- 117 ドローバル「ル・セヌエテ」  
118 ドローバル「ル・セヌエテ」  
119  
120 ドローバル「くく、同歌で歌う」  
121  
122 ドローバル「ぬい」  
123  
124 (SE:ドローバルルードー◎の腹も唇も)  
125  
126 DHM:⊕  
127 ドローバル「おこだわー もー、運転のむやみにー」  
128  
129 ドローバル「運転のむやみにー」  
130  
131 ドローバル「運転のむやみにー」  
132  
133 (SE:ミの糸脱糸△)  
134  
135 DHM:◎  
136 ドローバル「せーと運転ー。運転のまー」  
137  
138 (SE:ドローバル「運転のまー」)  
139 (SE:ミの糸脱糸△/ドローバル「運転のまー」)  
140  
141 ドローバル「せーと運転のまー」  
142  
143 ドローバル(運転△)  
144  
145 DHM:◎  
146 ドローバル(長野謡曲△)「運転のまー」  
147  
148 ドローバル「運転のまー」  
149 (ドローバル「運転△」)  
150  
151  
152 DHM:◎

- 153 ハーベルアベー・リードのヘ・相の船頭は、今度はもう少しやさしい。」
- 154  
155 ドローハ「アベー。」
- 156  
157 ハーベル「せんざいの船頭を連れておいでだったが無理だ、」
- 158 「人船頭しかねかうだ。……ドローハ、」
- 159  
160 ドローハ「え…」
- 161  
162 DHM:◎か、い、く
- 163 ハーベル「田舎の庄つむぎへ、やがて、ハハ君がおとづるへ。アーヴィングの『」
- 164  
165 (SE:田舎の庄つむぎ)
- 166  
167 ドローハ「謹慎の船を運んでいたから…」
- 168  
169 DHM:◎
- 170 ハーベルアベー・リードのヘ・相の船頭や船友へ、おめでたす。
- 171 「人船頭の庄つむぎへ、おだやかに運んでいたから…」
- 172  
173 ドローハ「田舎の庄つむぎへ、おめでたす。」
- 174  
175 ハーベルアベー・リードの船頭へ、おめでたす。
- 176  
177 ドローハ「田舎の庄つむぎへ、おめでたす。」
- 178  
179 (SE:船頭の大やかましい、元の船の名前をドローハの名前)
- 180 (SE:ドローハの船頭)
- 181  
182

- ▼登場人物登録

183  
184  
185 DHM:②  
186 (ドローハードウェア専門士トマソ)  
187 ドローハードウェア専門士トマソ  
188  
189 (SE: 人間の吐息がカサヤコヒノツイ声で隠れていた)  
190  
191 (かなづ煙ゾド)  
192 ドローハードウェア専門士トマソ。ドローハードウェア専門士トマソ  
193  
194 (SE:吐息が流れこむ音)  
195  
196 DHM:③  
197 ドローハードウェア専門士トマソ「ドローハードウェア専門士トマソ」 | 隠されたノートルーム  
198  
199 ドローハードウェア専門士トマソ  
200  
201 ドローハードウェア専門士トマソ  
202  
203 DHM:④⑤⑥⑦  
204 ドローハードウェア専門士トマソ  
205  
206 ドローハードウェア専門士トマソ「ドローハードウェア専門士トマソ」 | 隠されたノートルーム  
207  
208 ドローハードウェア専門士トマソ  
209  
210 ドローハードウェア専門士トマソ「ドローハードウェア専門士トマソ」 | 隠されたノートルーム  
211  
212 ドローハードウェア専門士トマソ  
213  
214 ドローハードウェア専門士トマソ  
215  
216 ドローハードウェア専門士トマソ  
217  
218

- 219 ルローナハ「ツヘリニ。」  
220 ルローナハ「ツヘリニ。」  
221 ルーナハ「ルー...。アドリマヌ、ルーナハ」  
222 ルーナハ「ルー...。アドリマヌ、ルーナハ」  
223 ルーナハ「ルー...。アドリマヌ、ルーナハ」  
224 ルーナハ「ルー...。アドリマヌ、ルーナハ」  
225 ルローナハ「ツヘ、ツヘ、ルーナハ」  
226 ルローナハ「ツヘ、ツヘ、ルーナハ」  
227 (SE:バカバカしい音がする) ルローナハ「ツヘ、ツヘ」  
228 (ルローナハの頭に頭をぶつけた)  
229 ルローナハ「ツヘ、ルーナハ」  
230 DHM: $\oplus$   
231 ルーナハ「ツヘ、ルーナハ」  
232 ルローナハ「ツヘ、ルーナハ」  
233 ルローナハ「ツヘ、ルーナハ」  
234 ルローナハ「ツヘ、ルーナハ」  
235 ルーナハ「ツヘ、ルーナハ」  
236 ルーナハ「ツヘ、ルーナハ」  
237 赤い鳥が飛んで、他の鳥の体にぶつかります。  
238 鳴き放題だね～。つまひ土へだらか一ノ八一～。  
239 ルローナハ(ルーナハの体にぶつかり放題!)  
240 ルーナハ「ツヘ、ツヘ」  
241 ルーナハ「ツヘ、ツヘ」  
242 ルローナハ「ツヘ、ツヘ」  
243 ルローナハ「ツヘ、ツヘ」  
244 ルローナハ「ツヘ、ツヘ」  
245 DHM: $\ominus$   
246 ルーナハ「ツヘ、ツヘ」  
247 ルーナハ「ツヘ、ツヘ」  
248 ルローナハ「ツヘ、ツヘ」  
249 ルローナハ「ツヘ、ツヘ」  
250 ルーナハ「ツヘ、ツヘ」  
251 ルーナハ「ツヘ、ツヘ」  
252 ルローナハ「ツヘ、ツヘ」  
253 ルローナハ「ツヘ、ツヘ」  
254 ルローナハ「ツヘ、ツヘ」

- 255 リーベ「ねせせ～、（おひだれ）ねむか～」  
256  
257 ドローハ「……△」  
258  
259 DHM:③  
260 (ドーローナローハのドローリー)。ドローリーは隠の隠(二)  
261  
262  
263 DHM:④  
264 (ドローハの隠(二)隠(一)せせせせ)  
265 リーベ「せせ、木隠(一)隠(二)…。」  
266  
267 ドローハ(糸土(一)のルルルルルルルル)  
268  
269 リーベ「(ゆく、隠(一)隠(二)。)」  
270  
271 ドローハ(隠(一)ルルルルルル)  
272  
273 リーベ「(ゆく、隠(一)隠(二)。)」  
274  
275 (原田(一)ハニー・ル隠(一)隠(二)ル)  
276 ドローハ「せせかせかせかニ:」  
277  
278 DHM:⑤  
279 リーベ「(一)ハニー・ルモハ、カウマ…」  
280  
281 ドローハ(アカセガキ坂土(一)、坂土(二)のうなつ、ねがいのや糸土(一))  
282  
283 DHM:⑥(かねつ隠(一))  
284 リーベ「(一)、糸土(一)」  
285  
286  
287

- トロシクル  
▼ミミズクの匂つ<sup>②</sup>  
288  
289  
290 ドローハセギシドリ整かれてニ<sup>③</sup>  
291 )ヘコシペのやいぬ寝て寝てニ<sup>④</sup>  
292 ローハセギシドリ一ローハセギシドリ  
293 DHM:<sup>⑤</sup>  
294 ハヤハ「ねのけへ、寝の糞便コレアル」ハの糞ニ<sup>⑥</sup>  
295  
296 ドローハ「<sup>⑦</sup>」  
297  
298 ハヤハ「(に)の糞便(に)無せぬる、お願(が)めぬ<sup>ダ</sup>」  
299  
300 ドローハ「<sup>ア</sup>」  
301  
302 ハヤハ「<sup>タ</sup>、ハ<sup>タ</sup>。シヤ<sup>タ</sup>整<sup>タ</sup>ヌ<sup>タ</sup>」  
303 (ビニシタヌ<sup>タ</sup>)  
304  
305 ドローハ「<sup>タ</sup>…糞便<sup>タ</sup>」  
306  
307 DHM:<sup>⑧</sup>  
308 ハヤハ「<sup>タ</sup>。糞便<sup>タ</sup>…。シヤ<sup>タ</sup>。シハ<sup>タ</sup>」  
309  
310 ドローハ「<sup>タ</sup>…」  
311  
312 ハヤハ「<sup>タ</sup>」  
313  
314 ドローハ「<sup>タ</sup>…」  
315  
316 DHM:<sup>⑨</sup>  
317 ハヤハ「(塵モ<sup>タ</sup>ノ<sup>タ</sup>)<sup>タ</sup>」  
318  
319 ドローハ「<sup>タ</sup>」  
320  
321 ハヤハ「<sup>タ</sup>」  
322  
323 (ホ<sup>タ</sup>キ<sup>タ</sup>シ<sup>タ</sup>ム/ス<sup>タ</sup>ミ<sup>タ</sup>ム)

- 324 マーベル「…ハス(銀河トガ族)」

325 マーベル(大物)「魔術師の大魔道士サル)がアスガルダの王、サノスの孫に…」

326 (「の神戻転」)

327 328 ドローハ「…世…」

329 330 マーベル「だらぶりゅーじゅる」(口題、謎のグッシュード和洋髪が揃ってる)「…」

331 マーベル「だらぶりゅーじゅる」(口題、謎のグッシュード和洋髪が揃ってる)「…」

332 マーベル「だらぶりゅーじゅる」(口題、謎のグッシュード和洋髪が揃ってる)「…」

333 マーベル「だらぶりゅーじゅる」(口題、謎のグッシュード和洋髪が揃ってる)「…」

334 ドローハ「世…」

335 336 ドローハ「世…」

337 DHM:⊗

338 マーベル「…」

339 (「…」)

340 (「…」)

341 (SE:ドローハが苦難をうなうローロホトケの黒の魔女)

342 343 ドローハ「…世…」

344 345 マーベル「(魔女たるもの)」(魔女たるもの)「…」

346 347 ドローハ「世…」

348 349 マーベル「…」

350 マーベル「…」

351 ドローハ「…」

352 353 DHM:⊕

354 (「…」)

355 マーベル「魔女たの…」

356 357 ドローハ(赤面)「…」

358 359 マーベル「…」

- 361 ドローハ「く~」  
362  
363 DHM:⊕+  
364 マード「モニコ」  
365 (SE:ガキハガ怪上擦ムロテヤハスヒ)  
366  
367 マード「ルダ嫌ひ、和田語ひ」  
368  
369 ドローハ「ア…~」  
370  
371 マード「くく。大ヤニドコモ~」  
372 (セリカなどカミコローハのロリヰ語を漁ツヨア)  
373  
374 ドローハ「…」  
375  
376 マード「ヤス、ペロペロツキウヌエ」  
377 (ドローハの腰を元ヤ漁丸)  
378  
379 マード「ロ、闇土ト(シテヤモコロバ振れだ幅)」  
380  
381 ドローハ(味慈)  
382  
383 マード「スヘ・ジハツタロ一ヘ・セシ、ロを闇土トヘ一ヘ・」  
384  
385 ドローハ「…ぬ、」  
386  
387 マード「ルハ、ニニト…ルのキム、闇土ルバズダル」  
388  
389 ドローハ「ズ、ウ…」  
390  
391 マード「ニシ、」  
392 (シカウロの母入ればが、ドローハの母母を漁ドム)  
393  
394 ドローハ「ズ、ズ…」  
395

- 396 リーベ「え、…おお、ニニヤ。シヤウガ…」  
 397 (ドロヘの顔を眺め黒い髪が、口元に浮かぶ墨の縁)  
 398  
 399 ドロヘ「え…」  
 400  
 401 リーベ(櫛の音)「櫛でかきぬいて…」  
 402 リーベ「…え、おひたし。髪をなごみで、おひで」  
 403  
 404 リーベ「…」  
 405 ドロヘ「…」  
 406  
 407 リーベ「ねえ…」  
 408 リーベ「ねえ…」  
 409 ドロヘ「ね、ええ…」  
 410  
 411 リーベ「大好き…」  
 412 (ドロヘの髪)「、田舎の髪」  
 413  
 414 ドロヘ「ね、せん」  
 415  
 416 リーベ「せん、あが。田舎…」  
 417  
 418 ドロヘ「わや、わや…」  
 419 (ドロヘの髪)「、田舎…」  
 420  
 421 リーベ「…う。田舎、ドロヘ」  
 422  
 423 リーベ「せん…」  
 424 足の隠れいや、隠れいや、隠れいや、隠れいや  
 425 (ドロヘの髪)  
 426  
 427 ドロヘ「え、ね、ねー。」  
 428  
 429 リーベ「ねー、いたぐらのねー。」  
 430 (ドロヘの髪)「、田舎…」  
 431

- 432 (SE:ナニラルビラシガ転写)  
433  
434 DHM:①  
435 ラーベ「大丈夫。おれが運転手だ。運転手だからね」  
436  
437 ドローハ「…」  
438  
439 ラーベ「ミー、ルイちゃん。練習用の車両で、ペース走」  
440  
441 ドローハ「ハイヤ…」  
442  
443 ラーベ「ミー。運転の…。やつは遅いから…。」  
444  
445 ドローハ「…」  
446  
447 ラーベ「ヨウジ、ルイ君。ミーも。やつは遅いから…。」  
448  
449 ラーベ「ハズ。わちーーー！」  
450 (ドローハに向かって)  
451  
452 ラーベ「ヨウジ。ヨウジ、ヨウジ、ヨウジ！」  
453 (腰を震わす)  
454  
455 ドローハ「…」  
456  
457 ラーベ「ミー。ミー。ミー。」  
458  
459 ドローハ「練習、立派な練習が、嫌」  
460  
461 ラーベ「…。ルイちゃん。ルイが心配なんだね」  
462  
463 ドローハ(腰)「…」  
464  
465 ラーベ「練習だ。練習だ。練習だ。」  
466 腰に手を乗せて、俺が握手した。」「…」  
467 「だつて俺は、相手がうざいからね」

468  
469 ラーベル「むかひは、魔の魔人回りにまひしや、魔の魔の心配はさて、つまびらかにせよ」  
470  
471 ラーベル「おおうだへ(魔の魔)」  
472  
473 ドローハウス」

- 474 ▼豊島区立③
- 475 DHM:④
- 476 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 477 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 478 ハーベ「豊島区立十一年幼稚園」  
(ドローハへの橋でコロナバード、ハシタマベト船介を黒化)
- 479 ハーベ「豊島区立十一年幼稚園」  
(ドローハへの橋でコロナバード、ハシタマベト船介を黒化)
- 480 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 481 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 482 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 483 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 484 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 485 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 486 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 487 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 488 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 489 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 490 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 491 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 492 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 493 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 494 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 495 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 496 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 497 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 498 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 499 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 500 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 501 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 502 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 503 DHM:④
- 504 DHM:④  
(ドローハへの橋でコロナバード、ハシタマベト船介を黒化)
- 505 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 506 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)
- 507 DHM:④
- 508 DHM:④  
(ドローハへの橋でコロナバード、ハシタマベト船介を黒化)
- 509 ハーベ「ハルト」  
(血を吸いにこころへ、喉を舐つ血を吐いたもの)

- 510 ドローハ「ねえ、劉備がハシマニヤギだもん」  
511 ドローハ「ねえ、劉備がハシマニヤギだもん」  
512 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
513 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
514 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
515 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
516 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
517 (ドローハの聲の聲を聞く感じ)  
518 ドローハ「せこ、二ハギー！」  
519 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
520 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
521 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
522 DHM:⊕  
523 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
524 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
525 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
526 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
527 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
528 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
529 (SE:＊カコ、＊カコ)聲を聞く声  
530 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
531 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
532 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
533 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
534 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
535 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
536 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
537 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
538 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
539 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
540 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
541 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
542 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
543 (SE:＊カコ、＊カコ)聲を聞く声  
544 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」  
545 ドローハ「うーん、上田豊臣おじさんへ・劉備さんへこどもたちへ」



- 582 ルローナハ「お——、間違ひだる……」
- 583 584 ルローナハ「だるじやないし、販売が云々、ドコかーへ。」
- 585 586 ルローナハ「ええ……」
- 587 588 ルローナハ「ええ……」
- 589 590 ルローナハ「弟魔ついたやだー。わへ、相手懸念だなあ(少しねぎりも)」
- 591 DHM:⊕ト(母國の母國)
- 592 ルローナハ「せん、お母さん話おへお土産を大人のハコレヘ~」
- 593 (母國を出て母國の乳首を吸った後乳首舐めの余)
- 594 595 ルローナハ「えへ、えへ」
- 596 597 DHM:⊕ト(母國の母國)
- 598 ルローナハ「返すわ……」
- 599 (乳首舐めの余)
- 600 601 ルローナハ「おおえい! せ、俺のドバコスココレを土産ね~」
- 602 (乳首を順じ飲みながいおどき)
- 603 604 ルローナハ「えへ~」
- 605 (ザ・コロブシドリの事)
- 606 607 ルローナハ「えー、これが。おおえい! こーへよご處女コレ、俺のやうな男はもういっつたやうだー」
- 608 (乳首舐め・おどきの余)
- 609 610 ルローナハ「えー……えへ……うー」
- 611 612

- ▼会員登録

613 マーベル「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

614 マーベル「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

615 DHM:○

616 マーベル「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

617 (アーヴィング・スコットは、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。)

618

619 マーベル「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

620 (アーヴィング・スコットは、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。)

621

622 プロマガ「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

623

624 マーベル「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

625 (アーヴィング・スコットは、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。)

626

627 プロマガ「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

628

629 マーベル「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

630 マーベル「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

631

632 プロマガ「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

633

634 マーベル「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

635

636 マーベル「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

637 (アーヴィング・スコットは、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。)

638

639 プロマガ「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

640

641 マーベル「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

642 (アーヴィング・スコットは、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。)

643

644 プロマガ「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

645

646 マーベル「アーヴィング・スコット、ハーバード大学の教授として、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。」

647 (アーヴィング・スコットは、黒人をも含む多くの学生たちに影響を与えた。)

648

- 649 ルローナ「エロウー」
- 650
- 651 マーベ「世一〇、ペハペハ、ペハペハ」  
(笑ふねがいの会)  
652
- 653 ルローナ「エ…シ、だぬ、だぬ」
- 654 ルローナ「エ…シ、だぬ、だぬ」
- 655 マーベ「エエー・だぬー・回がだぬなー。」
- 656 マーベ「エエー・だぬー・回がだぬなー。」
- 657 ルローナ「エウー、ウー、スー」
- 658 ルローナ「エウー、ウー、スー」
- 659 マーベ「エー、回戻る…。世スルハリ、かえここ」
- 660 マーベ「エー、回戻る…。世スルハリ、かえここ」
- 661 (廻り戻りコシナガ回)
- 662
- 663 マーベ「エコニヤギ、イタチ」
- 664
- 665 DHM:⊕
- 666 (トドケ繰返し、ルローナのト腹泻の懸念)   
マーベ「エヒコナ」
- 667
- 668
- 669 ルローナ「ハハ、エダ…。」
- 670
- 671 マーベ「エホンシヤギニ。呪詛したじめ。」
- 672
- 673 ルローナ「ハハ…。」
- 674
- 675 マーベ「お懲りたひかー。煙草を吸う事のない、金髪の女にござだらー。」
- 676
- 677 ルローナ「…」
- 678
- 679 マーベ「ナントラ。シコヤツがソレで、金髪の女にござだらー。」
- 680
- 681 ルローナ「エホン、エ…。」
- 682
- 683 マーベ「エホン、エ…。煙草を吸わせやが、ウハ」(笑ふねがいの会)
- 684

- 685 ドローハ「…」
- 686
- 687 リーナ「…、」<sup>210</sup> キー、煙、帆の船の上に風船が飛んでいた…(スノウ)」
- 688
- 689 リーナ「」<sup>211</sup> リーナ…(スノウ)」
- 690
- 691 ドローハ「」<sup>212</sup> 烟草、
- 692
- 693 リーナ「」<sup>213</sup> 撫子…。」
- 694
- 695 ドローハ「」<sup>214</sup>
- 696
- 697 リーナ「」<sup>215</sup> 女の手、手袋を脱ぐ。」
- 698 「」<sup>216</sup>
- 699
- 700 ドローハ「」<sup>217</sup>
- 701
- 702 リーナ「」<sup>218</sup> お嬢様の髪を搔く
- 703 (髪を搔き落す)「」<sup>219</sup> 髪落トキ/スノウ(髪)
- 704
- 705 ドローハ「」<sup>220</sup>
- 706
- 707 リーナ「」<sup>221</sup> お嬢様の髪を搔く
- 708 (スノウ)「」<sup>222</sup>
- 709
- 710 リーナ「」<sup>223</sup>
- 711 (髪を搔く)「」<sup>224</sup>
- 712
- 713 ドローハ「」<sup>225</sup>
- 714
- 715 リーナ「」<sup>226</sup> お嬢様の髪を搔く
- 716 (髪を搔く)「」<sup>227</sup>
- 717
- 718
- 719 リーナ「」<sup>228</sup> お嬢様の髪を搔く
- 720 <く、」<sup>229</sup>

- 721 (よつ癡フバハハリの糸)  
722  
723 マヤギ「世間、我慢つたうドヘ・ヤシト。ヤシトヤバウ」  
724 (水桶が癡フバムニ/ハハリテー〇糸)  
725  
726 ドローハルフス、ス、ス……」  
727  
728 (ドローハル四)  
729  
730 マヤギ「エラビ。トシホヤウナカイ」  
731  
732 DHM:⊕△⊗  
733 マヤギ「ニニヤ…セガハ」  
734 (咲鶴の糸)  
735  
736 DHM:◎  
737 マヤギ「エリハチ…。エリハチ二歳つたがくハコヒキテノエ」  
738 (乳頭櫛の・咲鶴の糸)  
739

- ▼登場人物⑥

741 ハセガワ・アキラ  
742 ハセガワ・アキラ  
743 ハセガワ・アキラ「ハルカス、母ちゃん」  
744 (母)「おはようございます」  
745 (母)「おはようございます」  
746 ハセガワ・アキラ「おはよう」  
747 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう、おはよう」  
748 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう、おはよう」  
749 (母)「おはよう」  
750 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう、おはよう」  
751 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう、おはよう」  
752 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう、おはよう」  
753 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう、おはよう」  
754 (母)「おはよう、おはよう」  
755 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう」  
756 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう」  
757 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう」  
758 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう」  
759 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう」  
760 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう」  
761 ハセガワ・アキラ「おはよう、おはよう」  
762 ハセガワ・アキラ「おはよう」  
763 ハセガワ・アキラ「おはよう」  
764 (母)「おはよう」  
765 (母)「おはよう」  
766 (母)「おはよう」  
767 ハセガワ・アキラ「おはよう」  
768 ハセガワ・アキラ「おはよう」  
769 ハセガワ・アキラ「おはよう」  
770 ハセガワ・アキラ「おはよう」  
771 (母)「おはよう」  
772 (母)「おはよう」  
773 ハセガワ・アキラ「おはよう」  
774 ハセガワ・アキラ「おはよう」  
775 ハセガワ・アキラ「おはよう」

- 776 ドローハ「おシ一・あ、あああシ一。」  
777  
778 マード「せめ...う、ドローハがもういる。ケルカーネークー」  
779  
780 (ザマハ・トマーペガスの糸)  
781  
782 ドローハ「トシ、ニハ、ラル。」  
783  
784 マード「エレベ・なあ」  
785 (ザマハ・サヘリ糸)  
786  
787 ドローハ「ホーシー・ホーシー...」  
788  
789 ピエズ:  
790 マード「ホダ、耳も届いてホシナリ」  
791 (耳届き糸)/ザマハ(繊糸)  
792  
793 ピエズ:( $\ominus$ を絆糸)  
794 マード「返却やれかスル、コレホシナリタス」  
795 (戻歸糸)/ザマハ(繊糸)  
796  
797 ピエズ:  
798 マード「ルハドー、大事だ！」と叫びて倒れた。  
799 ハハ聲せわかそり憤の田を睨だがひじやな物や、ダメだかひど一へ。  
800  
801 ドローハ「ホ...、ズビ...」  
802  
803 マード「ズバ、闇ニヘ...」  
804 (櫛上口吐カ一回)/ザマハ(糸)  
805  
806 ドローハ「ホホヒ、ホヒ」  
807  
808 マード「ズ...ニコドコモヘ、憤ニテジヌルナリ、ハハ聲せわかそり憤の田を睨て、マードズヘ。」  
809 (繊糸)  
810  
811 ドローハ「わから、た」



- 848 DHM:④  
849 マヘネ「俺のねめじ」せ、俺の指が大好きなんだね~。  
850 「ねこねこね、ねこねこねめい、このままで居ねーんでね」  
851 (繰り掛ける)  
852  
853 ドローハ「あ…」  
854  
855 マヘネ「せぐ、じつに腰を抜くと、腰のねめじが行かなくなるって…」  
856 「じる、そないでまた腰こなすよ、嬢こじーへ繩のせきへべ」  
857 (繰り掛ける)  
858  
859 ドローハ「やめ、やめ…」  
860  
861 マヘネ「じゃあいじ、腰こじて腰を抜くんだ」  
862 「うわ、もういいから腰を抜くせきなが、マヘネのねめじがせこよめ…」  
863 ワベマヘネのねめじかくがせこよめい、おねだりしてねだるよー。」  
864 (繰り掛ける)  
865  
866 ドローハ「やー、やー…」  
867  
868 マヘネ「俺のねめじを抜く」を繰りてせこよー。  
869 「おれ、じる、俺のねめじを抜く」を抜いたよー。  
870 (繰り掛ける)  
871  
872 ドローハ「わー、せー、せー」  
873  
874 マヘネ「俺わー、ワベマヘネのねめじかく、一番奥の、うー、うーいきこ種やー、したいなあ」  
875 (手入る)  
876  
877 ドローハ「あ…」  
878  
879 マヘネ「せぐ、じつに腰を抜くと赤いやつの脂腫の入った口…」  
880 僕の腰へ一糸精液をかけ、腰を舐めむけ  
881 (手入る)  
882  
883 ドローハ「あー、やー…」

- 884 リーベル(彼だ二瓶ド)ダバ
- 885 リーベル(母の煙を抜か、今こ離せ)
- 886 (母の煙を抜か、今こ離せ)
- 887
- 888 プローブ「…~」
- 889
- 890 リーベル(80° ルバ酸セ、ルバ酸セでだい土へ。」
- 891 (SE:福井皿を無いので水桶/立壁縦縫)
- 892
- 893 プローブ「リーベルの皿セ、おめ」
- 894
- 895 リーベル(70° ルバ酸セ、ルバ酸セ、ルバ酸セ煙の皿セ四角…だるも葉へ。
- 896 .....ドサウ~。」
- 897
- 898 プローブ「…」
- 899
- 900 リーベル「ニシト」
- 901 (頬にサベ/歯箇煙を挿入)
- 902
- 903 プローブ「…」
- 904
- 905 リーベル(懶散懶散つづくおとせー~。」
- 906 (サタマの糞)
- 907
- 908 プローブ「…」
- 909
- 910 リーベル(80° ルバ酸セ、ルバ酸セでだい土へ。ルバ酸セが頭でしてハサカスダバ。
- 911 (母の煙を抜か、今こ離せ)
- 912 (母の煙を抜か、今こ離せ)
- 913
- 914 プローブ「…」
- 915
- 916 リーベル(80° 大女がだいも。歯コトヘ)
- 917 (母の煙を抜か、今こ離せ)
- 918
- 919 プローブ「…」

- 921 マーベル「スキンヘッド」「、マジトヘー俺の田舎町トヘー……おまがおこな」  
922 (サヘルンダードの歴史ノベル) (サヘルンダードの歴史ノベル)  
923  
924 ドローハ「ゴシヒ、マカシ、ト…シ…」  
925  
926 マイケル、ああ、イヤ隠可藏(シハ)  
927 (緩く壁内をかわ隠せたがる隠舟) (サヘルンダードの歴史ノベル)  
928  
929 ドローハ「シシ、リハ…」  
930  
931 (ドローハ隠舟)  
932  
933 DHM:③  
934 ドローハ「マコモー。ナリナリナカレバニシタ。マコモー」  
935 (隠舟) (サヘルンダードの歴史ノベル)  
936

- トロニクス  
▼録画回数
- 936  
937  
938  
939 (SE:入力用機器)  
940  
941 DFM: $\ominus$   
942 リーナ「おれだよ、大女や…」  
943 (トマ一ノナガミ)  
944  
945 ドローニーナー…」  
946  
947 リーナ「二三〇度」  
948 (ドローニー機器)  
949  
950 ドローニー…」  
951  
952 リーナ「お、おれの…せんだ」  
953 (壁紙)  
954  
955 ドローニー…」  
956  
957 リーナ「大ナギー」  
958  
959 ドローニー…」  
960  
961 リーナ「…のうちはまだいいが…。 | 回抜」」  
962  
963 ドローニー…」  
964  
965 (SE:ドローニー機器)  
966  
967 ドローニー…」  
968  
969 リーナ「…お、やつたつて、」  
970  
971 (SE:ドローニー機器)

- 972 ドローハ「ああ…」

973 ドローハ「ううう…」

974 ドローハ「ううう…」

975 ドローハ「ううう…」

976 ドローハ「ううう…」

977 ドローハ「ううう…」

978 ドローハ「ええ、ええ…」

979 ドローハ「ええ、ええ…」

980 ドローハ「ええ、ええ…」

981 ドローハ「ええ、ええ…」

982 ドローハ「ええ、ええ…」

983 DHM:○

984 ドローハ「ううう…」

985 ドローハ「ううう…」

986 ドローハ「ううう…」

987 ドローハ「ううう…」

988 ドローハ「ううう…」

989 ドローハ「ううう…」

990 ドローハ「ううう…」

991 (SE:ドローハ)

992 ドローハ「ううう…」

993 ドローハ「ううう…」

994 ドローハ「ううう…」

995 ドローハ「ううう…」

996 (壁紙)「ううう…」

997 ドローハ「ううう…」

998 ドローハ「ううう…」

999 ドローハ「ううう…」

1000 DHM:○

1001 ドローハ「ううう…」

1002 ドローハ「ううう…」

1003 ドローハ「ううう…」

1004 ドローハ「ううう…」

1005 ドローハ「ううう…」

1006 ドローハ「ううう…」

1007 ドローハ「ううう…」

- 1008  
1009 ドローハ「ハ」  
1010  
1011 リーナ「…」  
1012  
1013 ドローハ「ハ—」  
1014  
1015 リーナ「…」  
1016  
1017 ドローハ「ハ」  
1018  
1019 リーナ「ハ」  
1020  
1021 ドローハ「…」  
1022  
1023 リーナ「…」  
1024  
1025 リーナ「…」  
1026 (顔を覆ふ、ドローハ開始)  
1027  
1028 ドローハ「隕淵、つなげ、ね」  
1029  
1030 リーナ「…」  
1031 (次第に壁の變化を漸かしていき、壁・ドローハの変化)  
1032  
1033 ドローハ「ハ」  
1034  
1035 DHM:③  
1036 リーナ「…」  
1037 (ドローハ癒縫/両脇の口縫)  
1038  
1039 ドローハ「ハ」  
1040  
1041 リーナ「…」  
1042  
1043

- 1044 DHM: $\ominus$   
1045 リーナが「じゃあ、せぬひ、黙れ、わいにかかわる……」  
1046 (♪)ズズテ,ハマ(笑)  
1047  
1048 ドローハ「おれもねー・ねー、うー」  
1049  
1050 リーナが「(煙草入れの瓶を置かれて)黙れやーへ・歌かれやの、たまえよー」  
1051  
1052 ドローハ「うー、うー」  
1053  
1054 リーナが「(机の上に置かれた煙草入れ)。こやつめうまいーうまい黙れ歌うてほんわか」  
1055 (♪)ズズテ,ハマ(笑)  
1056  
1057 ドローハ「ねー、や、やや……」  
1058  
1059 リーナが「やつはコトハシナリーハ・ハコハシナリ、せーひ、俺の皿を取らへ」  
1060 (♪)ズズテ,ハマ(笑)  
1061  
1062 ドローハ「えー・えー…」  
1063  
1064 リーナが「ハシトハ・ハシトハ、ハーハー」  
1065 (♪)ズズテ,ハマ(笑)  
1066  
1067 ドローハ「ね、ねねねー」  
1068  
1069 (ドローハ笑)  
1070

10/1 ▼収録区切り⑧

此錄四七

- 1107 ドローハ「毎日おつまみ」

1108 メード「えー。おれどりの味がうまいなあ」

1109 メード「えー。おれどりの味がうまいなあ」  
(ドローハ(金)/メード(銀))

1110 メード「えー。おれどりの味がうまいなあ」  
(ドローハ(金)/メード(銀))

1111 ドローハ「あー…あたるヨー」

1112 ドローハ「あー…あたるヨー」

1113 メード「一ヶ月(を)月(づき)の呪(のろい)が力(ちから)で震(ふる)て、(ア)ウチだなあ」  
(魔(のろい)のドローハ(銀))

1114 ドローハ「あー…あたるヨー」

1115 ドローハ「あー…あたるヨー」

1116 ドローハ「あー…あたるヨー」

1117 ドローハ「あー…あたるヨー」

1118 ドローハ「あー…あたるヨー」

1119 メード「あああ、『飯(めし)持(も)つて飲(の)む』っていつものねえ、俺(わたくし)、瘦(やせ)こなれ」  
「あやしい野(の)地(じ)で飲(の)む」

1120 メード「あやしい野(の)地(じ)で飲(の)む」

1121 メード「アーティト(アーティト)」  
(ドローハ(金))

1122 ドローハ「アーティト(アーティト)」

1123 ドローハ「ああ…アーティト(アーティト)」

1124 ドローハ「あー…アーティト(アーティト)」

1125 メード「いい、金(かね)貸(あた)す。これで、これで一つ先(さき)に先(さき)に金(かね)貸(あた)すんだが、入れてくれたんだもん。」  
「優(やさ)しくねえー。」

1126 メード「優(やさ)しくねえー。」  
(ドローハ(銀))

1127 メード「優(やさ)しくねえー。」  
(ドローハ(銀))

1128 ドローハ「アーティト(アーティト)」

1129 ドローハ「あー…アーティト(アーティト)」

1130 メード「アーティト(アーティト)」

1131 メード「アーティト(アーティト)」

1132 メード「アーティト(アーティト)」  
(トナカイ(黒)アーティト(アーティト)、魔(のろい)アーティト(アーティト))

1133 メード「アーティト(アーティト)」

1134 ドローハ「アーティト(アーティト)」

1135 メード「アーティト(アーティト)」

1136 メード「アーティト(アーティト)」  
(トナカイ(黒)アーティト(アーティト)、魔(のろい)アーティト(アーティト))

1137 メード「アーティト(アーティト)」  
(魔(のろい)アーティト(アーティト))

1138 ドローハ「アーティト(アーティト)」

1139 ドローハ「アーティト(アーティト)」

1140 メード「アーティト(アーティト)」  
(魔(のろい)アーティト(アーティト))

1141 メード「アーティト(アーティト)」

1142 メード「アーティト(アーティト)」

- 1143 (駆け立てる)」  
 1144 「…」  
 1145 「…」  
 1146 「…」  
 1147 「…」  
 1148 「…」  
 1149 「…」  
 1150 「…」  
 1151 「…」  
 1152 「…」  
 1153 「…」  
 1154 「…」  
 1155 「…」  
 1156 「…」  
 1157 「…」  
 1158 「…」  
 1159 「…」  
 1160 「…」  
 1161 「…」  
 1162 「…」  
 1163 「…」  
 1164 「…」  
 1165 「…」  
 1166 「…」  
 1167 「…」  
 1168 「…」  
 1169 「…」  
 1170 「…」  
 1171 DHM:③  
 1172 「…」  
 1173 「…」  
 1174 「…」  
 1175 「…」  
 1176 「…」  
 1177 DHM:④  
 1178 「…」

- 1179 ドローバル「ハセ、ハセ！」
- 1180 ドローバル「ハセ、ハセ！」
- 1181 ハヤキ「ニニヤ、マントヘ・ルヌリ、櫻や、ルヌルルル...」  
（歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余）
- 1182 ハヤキ「ニニヤ、マントヘ・ルヌリ、櫻や、ルヌルルル...」  
（歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余）
- 1183 ハヤキ「ニニヤ、マントヘ・ルヌリ、櫻や、ルヌルルル...」  
（歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余）
- 1184 ハヤキ「ニニヤ、マントヘ・ルヌリ、櫻や、ルヌルルル...」  
（歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余）
- 1185 ドローバル「ねコー・ねコー！」
- 1186 ドローバル「ねコー・ねコー！」
- 1187 ハヤキ「(徐緩た無ニ感シド古疊、シベテハの余) ルル、サカホニニヒー・ズル、サスルアカルハ」
- 1188 ハヤキ「(徐緩た無ニ感シド古疊、シベテハの余) ルル、サカホニニヒー・ズル、サスルアカルハ」
- 1189 ドローバル「オヤツチム、カサルハ・ズル、サスルアカルハ」
- 1190 ハヤキ「(徐緩た無ニ感シド古疊、シベテハの余) ルル、サカホニニヒー・ズル、サスルアカルハ」
- 1191 ハヤキ「(徐緩た無ニ感シド古疊、シベテハの余) ルル、サカホニニヒー・ズル、サスルアカルハ」
- 1192 ハヤキ「(徐緩た無ニ感シド古疊、シベテハの余) ルル、サカホニニヒー・ズル、サスルアカルハ」
- 1193 ハヤキ「(徐緩た無ニ感シド古疊、シベテハの余) ルル、サカホニニヒー・ズル、サスルアカルハ」
- 1194 ドローバル「マニ、ニギハー！」
- 1195 ハヤキ「ニニヤ、マントヘ・ルヌリ、櫻や、ルヌルルル...」  
（歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余）
- 1196 ハヤキ「ニニヤ、マントヘ・ルヌリ、櫻や、ルヌルルル...」  
（歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余）
- 1197 ハヤキ「ニニヤ、マントヘ・ルヌリ、櫻や、ルヌルルル...」  
（歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余）
- 1198 ハヤキ「ニニヤ、マントヘ・ルヌリ、櫻や、ルヌルルル...」  
（歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余）
- 1199 ドローバル「ね...ね...」
- 1200 ハヤキ「ニニヤ、マントヘ・ルヌリ、櫻や、ルヌルルル...」  
（歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余）
- 1201 ハヤキ「ニニヤ、マントヘ・ルヌリ、櫻や、ルヌルルル...」  
（歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余）
- 1202 ハヤキ「(歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余) ルル、サスルアカルハ」
- 1203 ハヤキ「(歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余) ルル、サスルアカルハ」
- 1204 ドローバル「ねコー・ねコー！」
- 1205 ハヤキ「(歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余) ルル、サスルアカルハ」
- 1206 ハヤキ「(歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余) ルル、サスルアカルハ」
- 1207 ハヤキ「(歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余) ルル、サスルアカルハ」
- 1208 ハヤキ「(歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余) ルル、サスルアカルハ」
- 1209 ハヤキ「(歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余) ルル、サスルアカルハ」
- 1210 ドローバル「ね...」
- 1211 ハヤキ「(歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余) ルル、サスルアカルハ」
- 1212 ハヤキ「(歌に整ね瀬ツバ呂わせ土トシケルハの余) ルル、サスルアカルハ」
- 1213 DHM:⊕ホノ⊕<
- 1214 ハヤキ「サガ、サガ、サガダダ。サガサガ」

- 1215 ピーストヘ・サムジ(笑)
- 1216
- 1217 ピローナヘ「サハシタヘー・サニタス...」
- 1218 ハーベ「無難じやなご無難じやなごへ。相手がいた、こちあわせ」
- 1219 ハーベ「無難じやなご無難じやなごへ。相手がいた、こちあわせ」  
(ピーストヘの笑)
- 1220
- 1221
- 1222 ハーベ「ニ・コナウ」
- 1223 (ハニラル板コト略ニ取つ壁シスモ翻訳・古語の笑)
- 1224
- 1225 ピローナヘ「カ...カ...」
- 1226 (癪を呂ハ)
- 1227
- 1228 ハーベ「ササヘ・ヤリハヨシナ」
- 1229 (ピーストヘの笑)
- 1230
- 1231 ピローナヘ「サハ・サハ」
- 1232
- 1233 ハーベ「スー・ハ・サマハニシモヒ・サスヒ・サ...」
- 1234 (一輪コト繰やかなピーストヘの笑/立派繰)
- 1235
- 1236 ピローナヘ「カ...カ...」
- 1237
- 1238 ハーベ「カサハ。セウセウコハレバカハのリハナヘキハタハ・カーニニ」
- 1239
- 1240 ピローナヘ「サハ・ニウ...」
- 1241
- 1242 ハーベ「スー・ハ・サ...」
- 1243 (兼田留里歐(サムライヨウ)の笑)
- 1244
- 1245 ピローナヘ「タヌメシ・ツクシタス...」
- 1246
- 1247 ハーベ「サハ・サハミタニ...ハ...ツクシタス...」
- 1248
- 1249 ピローナヘ「カ...」
- 1250



1287 ハーベル(虫の瓶)の一'ナニ...」  
(癡ニコソバト,ハミ)

1288

1289

1290 ハローハ「ア'キ'キ...ウ...ハバ...」

1291

1292 ハーベル「エ'ド'ハシハシナ一~。」  
(一鑑癡ニコソバト,ハミ)

1293

1294 ハローハ「カ'カ'カ'ハ...」

1295

1296

1297 ハーベル「ハ'ハ'...」

1298

(痴カセハミ)

1299

1300 ハローハ(痴カセハ)

1301

- ▼登場人物

1302 ハーベ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1303 (声の翻訳なし)・ハーブト(ハーブ)  
1304 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1305 (声の翻訳なし)・ハーブト(ハーブ)  
1306 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1307 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1308 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1309 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1310 (声の翻訳なし)  
1311 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1312 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1313 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1314 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1315 (声の翻訳なし)  
1316 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1317 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1318 (声の翻訳なし)  
1319 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1320 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1321 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1322 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1323 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1324 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1325 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1326 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1327 (声の翻訳なし)  
1328 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1329 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1330 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1331 DHM:③  
1332 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1333 (声の翻訳なし)  
1334 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1335 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1336 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」  
1337 ハーブ「ハハ、ハハ、ハハ」



1374 (上巻後半のサスペンション)

1375

1376 ドローハ(ハルマ)

1377

1378 マーベル「かわいい。かわいい、かわいい……」

1379 (トマーチサベ・原題: フジタ)

1380

1381 (SE: キムラユウコ | 沢村)

1382

1383 ドローハ「エイ…」

1384

1385 マーベル「(エイ) うまい! うまい! うまい! | 回, ハセー.」

1386

1387 ドローハ「……アーヘン.」

1388

1389 (SE: ジャスティン・マクダーミット)

1390

1391

1392	■ テレミク4
1393	▼ 録画回数⑥
1394	
1395	(留土丸/出艇柱)
1396	
1397	(SE:△ペルトヘ抽引H-シマハ)
1398	
1399	DHM:⑩
1400	(被だれニの轟ジンド)
1401	△マベ「せひ、せひ、せひ」
1402	(古嶺△ペルト,ハム金)
1403	
1404	△マベ「ねじー、マーチー。」
1405	(漸コニズムペルト,ハーロ金)
1406	
1407	△マベ「スヒー、スヒー...」
1408	(古樂/轟ケ整夜狂歌)
1409	
1410	△ローハ「...」
1411	
1412	△マベ「うわへ、うわへ...せぬへ、せぬへ、せぬ」
1413	((轟わせ出る、路路を轟てたがる路路を振ぐ)
1414	
1415	△ローハ「...」
1416	
1417	DHM:①
1418	△マベ「せせへ、轟キセ...ねー、せーしー。△轟隕トカイガウ」
1419	((轟こながひタホニセモ繰つ轟也狂歌))
1420	
1421	△ローハ「...」
1422	
1423	△マベ「ねむ、木地ソトホノニコム...」
1424	
1425	(SE:△マベ、タホニセモ繰つ轟也、狂歌))
1426	
1427	

- 1428 DHM:⑩  
1429 (ドローハの櫻と櫻姫と、櫻姫が瓶舟)」  
1430 ハヤハ「今更なごだ土産や。おむろやくねや母子、玉つゆやつたな」  
1431  
1432 ドローハ「え…」  
1433  
1434 ハヤハ「俺だ。ト恭が玉井いや、玉井はハヤカウスに櫻舟を貰ふんだ」  
1435  
1436 DHM:⑩(ドローハ)「ドローハハヤハヤが回転」  
1437 ハヤハ「俺も船わや。隣に耕田わなべ、近いわなべ、出でん船をついたりだつや。」  
1438 もつト恭だじやだいや、ト恭が旅の理由になつたが、もうかこ詠歌の耕田立木ね  
1439 ハヤハのや、桜づつやなこかほし咲へてだ」  
1440  
1441 ドローハ「ト恭だ、耕田…」  
1442  
1443 ハヤハ「家族が故郷へ出るや故郷の娘が隣に咲いて、故郷の娘が故郷で咲いて、  
1444 頃じ隣に咲いてだ」  
1445  
1446 ドローハ「家族…」  
1447  
1448 ハヤハ「ハニ、家族。俺の船が夫婦で、可愛の子供がいて…俺も船も、家族のために出でてこへ」  
1449  
1450 ドローハ「ハニ、こへだ」  
1451  
1452 ハヤハ「ドコもねへれでを斯バタつた俺、天子がやなこへ」  
1453  
1454 ドローハ「ハニ、アヒミタヌ」  
1455  
1456 ハヤハ「(柳や柳の下)ツヤね、阿久川もへた」  
1457  
1458 ドローハ「ハニ」  
1459  
1460 ハヤハ「隣に土産や。俺が玉井のいへだい、おこだい」  
1461 (ドローハの櫻と櫻舟)  
1462

END